

労働力不足に悩む米国酪農の新たな懸念 トランプ政権の移民政策転換が酪農業に及ぼす影響

トランプ政権による移民政策の転換が進められる中、米国の酪農業は重大な局面を迎えている。労働集約型産業である酪農業は、これまでも深刻な労働力不足の問題に直面してきた。米国の酪農場は移民労働者に大きく依存しており、酪農生産における労働力の半数が移民労働者で、生乳供給量の約 8 割は移民労働者を雇用する酪農場によって担われている。従って、移民の排除は、酪農生産を縮小させ、牛乳価格の上昇と食料供給の不安定性をもたらすことで、米国経済の大きな損失に繋がることが懸念されている(*1)。欧米のメディアや米国の農業団体の情報を中心に、状況を追った。

米国の農業労働者のビザ

米国では、1986 年の移民改革統制法によって、農業経営者が外国人労働者を雇用する際に利用する H-2A ビザ(季節農業労働者向け)プログラムが創設された。このプログラムは、雇用主に対して、外国人労働力の雇用を 1 年未満とすることや、事前に国内で米国人労働者を求人募集することなどを求めている。農家の高齢化に加え、国内の労働力不足が進む中で、2022 年は約 29 万 8000 件の H-2A ビザが発給され、2017 年と比較すると約 1.8 倍の件数に急増した(*2)。

また、労働力不足を背景に、米国内の労働者の賃金を保護するため各州で業種ごとに設定される賃金レート(AEWR)は上昇しており、生産コストの上昇や食品のインフレ、諸外国の農産物との競争力の低下などをもたらしている。

こうした中、H-2A ビザプログラムは、周年拘束性の強い酪農場等での利用が難しいことや、申請の手続きが複雑で、申請には費用もかかることなどから、農業団体等から見直し・改善を求める声が上がっている。

また、全米生乳生産者連盟(NMPF)は、現在雇用されている移民労働者とその家族に永続的な法的地位を与え、酪農家に実行可能な外国人労働者プログラムを提供する、新たな法律の制定を支持すると表明している(*1)。

米国の酪農を支える移民労働者

米国の酪農場における搾乳、牛舎清掃、機械メンテナンス、衛生管理などの細かく専門的な日常の作業は熟練労働者に支えられている(*3)が、こうした労働力の 51%は移民労働者に依存しており(*1)、なかでも不法移民を労働力として利用せざるを得ないのが現実である。もし、大規模な不法移民の強制送還が実施された場合、生産性が大幅に低下し、生乳生産の激減、牛乳乳製品価格の高騰、品質の悪化、小規模農家の財政不安定化、農村地域の経済縮小など、深刻な混乱が予想される。搾乳ロボットなどの自動化技術は労働力不足の緩和に有効だが、その投資額が大きいと、とくに小規模農家では導入の障壁となっている(*3)。

2021 年に下院を通過し、2025 年 5 月に再度下院に提出された農場労働力近代化法案は、不法移民労働者に一時的な就労資格と最終的な市民権取得への道を提供し、H-2A ビザ制度の拡充も含め、安定的な労働力確保を図ることを目的としている(*4)。

米トランプ大統領は、4 月の閣議で農家が連邦政府にビザ枠の拡充を請願できる仕組みを検討していることを示唆した。これは通年雇用が可能になる案であり、現在の H-2A ビザの期限を超えたプログラムを長年求めてきた農業団体や乳業会社は朗報と評価している(*5、6)。

しかし、同時期には、不法移民の強制送還という公約どおり、米国移民・税関執行局(ICE)による不法移民の取締りが強化され、全米で1日3000人の不法移民を逮捕するという目標が提示された。実際に、農場に家宅捜査が入り、メキシコ人労働者の強制送還が実施されたことは、農業分野に衝撃を与えた。こうした中で、ICEの摘発を恐れて、これまで合法的に滞在していた移民を含め、農場に出勤していない労働者も多くなっているとされる(*7)。移民対策を評価してトランプ大統領に投票した酪農家も、長年一緒に働いていた仲間の安否と、誰が牛の乳を搾るのかを心配している(*8)。5月の米国農業労働力は、減少傾向に転じた(*9)。

その後6月に、トランプ大統領は、移民取締りが影響を及ぼしている農場やホテルなどの業界を支援するための大統領令を発出する予定であると表明した。7月には、トランプ大統領は、酪農業が抱える慢性的な人手不足を緩和するため、米国内に既に滞在している不法移民に対して一時的就労許可を発行し、合法就労と納税を認める計画を発表した。支持者は、市民権を付与せずに農場の閉鎖が回避される「緊急策」と評価し、業界の安定化に寄与すると期待している(*10、11)。

通年雇用を可能とする柔軟なビザ制度の創設は、収益が厳しく輸出市場が変動する酪農業の回復力強化に不可欠とみなされている。

移民労働者の強制送還による影響

経験豊富な熟練した移民労働者は、酪農生産と乳牛の健康を維持する上で重要な役割を果たしている。2015年のテキサスA&M大学の報告「移民労働者が米国酪農場に与える経済的影響」によると、移民政策により酪農に携わる労働者の半分以上を占める不法移民に対して強制送還が行われてしまった場合、米国の年間生乳生産量約1億トンのうち、2195万トンが減少する可能性があり、これにより小売販売価格が45.2%上昇すると予測さ

れている(*1, 12, 13)。

また、同報告は、2014年の全米酪農労働調査(National Dairy Labor Survey)のデータを分析し、酪農場での従業員の平均離職率は14.2%であり、こうした従業員の離職が生乳生産量を1.8%減少させ、子牛および乳牛の死亡率をそれぞれ1.7%および1.6%増加させていることを明らかにしている(*12)。

この調査報告でも確認できるように、大規模な強制送還は、酪農業やその他の農業ビジネスに計り知れない不確実性とリスクをもたらすことが見込まれる。当面の労働問題だけでなく、将来的な労働問題をさらに悪化させる可能性もあり、農家が来シーズン以降の計画を立てる際に、困難な経営や経済的な決断を迫られることになる(*14)。

25年7月に発表された米調査会社ギャラップのまとめでは、米国民の8割が「移民は国家にとって有益」と回答した。移民を好意的に見た回答の比率は2001年以来の過去最高に達し、「米国にとって負担」とした2割を大きく上回った。ロリンズ農務長官は、農場作業の自動化と移民摘発の実施によって「米国人だけで労働力100%を目指す」と宣言したが、農業の現場は、過酷な労働環境にも耐えられる低賃金で供給される労働力が求められる。農業で働きたいと手を上げる米国人は少ないのが現実だ(*15)。

関税政策のジレンマ

トランプ大統領と米国の農家との関係は、複雑だ。多くの農家は、2018～19年の貿易戦争でトランプ政権が提供した230億ドルの支援金を評価しているため、彼は自分たちを守ってくれるものと考えている。移民取締りのリスクや関税政策の不確実性にもかかわらず、農家のトランプ大統領への支持は依然として根強い(*16)。

参考資料:

- 1) <https://www.nmpf.org/issues/labor-rural->

- [policy/labor-and-immigration-reform-efforts/](#)
「労働力と移民制度改革」(全米生乳生産者連盟(NMPF))
- 2) <https://www.zenichu-ja.or.jp/gekkanja/overseasnews/20230801-8/>「移民・非移民・労働力 その2」(月刊 JA、August/vol.146、2023 年)
- 3) <https://www.thebullvine.com/management/the-impact-of-mass-deportations-on-americans-dairy-industry-who-will-milk-the-cows/>
「大規模な国外追放が米国の酪農業に与える影響：誰が牛の乳搾りをするのか？」(Bullvine)
- 4) https://en.wikipedia.org/wiki/Farm_Workforce_Modernization_Act
「農場労働力近代化法案」(ウィキペディア)
- 5) <https://www.wwnytv.com/2025/04/17/trump-reportedly-open-changing-farm-worker-visa-rules/>
「トランプ大統領、農業労働者ビザ規則の変更に向けと報じられる」(WWNY)
- 6) <https://fortune.com/2025/04/21/land-o-lakes-ceo-beth-ford-immigration-trump-business-roundtable/>
「ランド・オ・レーク社の CEO ベス・フォード氏は、トランプ大統領の移民政策に影響を与えるための経済界の活動を率いている」(フォーチュン)
- 7) <https://www.reuters.com/business/immigration-raids-leave-crops-unharvested-california-farms-risk-2025-06-30/>
「移民強制捜査で農作物が収穫できず、カリフォルニアの農場が危機に」(ロイター)
- 8) <https://www.bostonglobe.com/2025/05/22/metro/trump-deportations-sow-fear-among-vermont-migrants-farmers/>
「乳牛：誰が牛の乳を搾るのか？トランプ大統領の強制送還で打撃を受ける酪農家」(ボストン・グローブ)
- 9) <https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2025-06-20/SY5MQST0AFB400>
「米移民取締りで「異常な光景」—萎縮した労働者、職場から消える」(ブルームバーグ)
- 10) <https://www.abc15.com/news/state/trump-to-offer-temporary-worker-permit-to-address-labor-shortage-in-farming-industry>
「トランプ大統領、米国の酪農労働力危機の中、農業労働許可を提案」(ABC15 アリゾナ)
- 11) <https://www.reuters.com/world/us/trump-promises-immigration-order-soon-farm-leisure-workers-2025-06-12/>
「トランプ大統領、農場労働者とレジャー労働者について近日中に移民令を出す」と約束」(ロイター)
- 12) <https://www.nmpf.org/wp-content/uploads/immigration-survey-090915.pdf>
「移民労働者が米国酪農場に与える経済的影響」(テキサス A&M 大学)
- 13) <https://www.alic.go.jp/content/001270464.pdf>
「米国の農業分野の労働力をめぐる情勢と連邦政府などにおける取り組みの動向」(海外情報、米国、畜産の情報、2025年8月号、76～85 ページ)
- 14) <https://www.usatoday.com/story/news/nation/2025/07/27/trump-immigration-deportation-farmers/85308530007/>
「農家はトランプ氏の移民ハイウェイの分岐点に直面している。では、次は何か？」(USA トゥデイ)
- 15) <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGN25BJ20V20C25A8000000/>
「全米実りの秋、摘発におびえる移民労働者」

農業従事者の7割」(日経新聞)

- 16) <https://www.fwi.co.uk/news/farm-policy/is-trumps-fondness-for-us-farmers-truly-reciprocal>

「トランプ大統領の米国農家に対する好意は本当に相互的なものなのだろうか？」(ファーマーズ・ウィークリー)

(資料閲覧時期:2025 年 7~9 月)

(Jミルク 国際グループ)